

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	とおりゃんせサードプレイス 大空		
○保護者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節に合わせてたイベントの実施や、外部のイベントにも積極的に参加している。	外出時には利用児の体調や安全に十分注意している。スタッフ全員でイベントの立案や外部イベントの情報収集を行っている。法人内の他のクラスと一緒にイベントを行うことで幅広い年齢層の方との交流ができる。	施設内でのイベントに地域の方を招待できると、地域の方との交流が生まれる。
2	事業所内で手作りした昼食やおやつを提供している。	食材や調味料も厳選している。アレルギーやきざみ食など利用児に合わせた献立になっている。	週1回、保護者の方（希望者）にも利用児と同じメニューを提供する機会を設け、身体の基礎を作る食事の大切さを知ってもらう。
3	1フロアでの支援を行っているので現状把握を瞬時に行うことができる。	支援者が常に室内を見渡し、その時々の方々の活動内容や利用児間のコミュニケーションの様子などを把握しフォローに入っている。	2Fにある静養やクールダウンのためのスペースをもっと利用できると活動の幅が広がる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	目の動きや身体の使い方など生活の基礎となる力への支援ができていない。	PT・OT等のスタッフがいらない。	PT・OTの方から研修を受けるなど、専門職以外でも行うことができる事を増やす。
2	利用児の成長に伴い活動スペースが狭くなってきている。	その日の利用人数や利用メンバーにもよるが1フロアでの支援はどうしても活動内容に制限がかかってしまう。	机や椅子の配置の工夫や法人内の別クラスにある運動スペースを活用していく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とおりゃんせサードプレイス 大空（放課後等デイサービス）				公表日	2026年7月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	利用児の成長につれて活動スペースが狭くなってきているので、活動に合わせて机の配置を変えるなどの工夫をしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		他のクラスから応援に来てもらうことができる	スタッフが送迎に出ている時間や利用児の心身状態によりスタッフが必要と感じることがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		1フロアという点では全体を見通しやすく状態を把握しやすい	トイレ介助時狭さを感じることもある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日営業終了後に消毒・清掃が行われている。また、備品・本・遊具なども適宜消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パテーションを使用し対応している	静養室が2 F に設置されているが使用頻度は低い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝の朝礼や、業務終了後に振り返りを行っている	勤務時間によっては参加できないスタッフもいる	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年アンケートを実施して業務改善に努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員アンケートや各クラスから出る意見を毎月管理者ミーティングを開催し共有・改善を図っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在第三者による外部評価は行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で実施する研修のほかに外部の研修にも参加している。また職員の希望する研修があれば、法人が費用を負担し研修を受講することができる		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			月1回しか利用がない児童は日々の変化や課題が把握しにくい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者へのモニタリング後、担当スタッフによる会議を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		立案された計画を共有し、いつでも見返すことができるようになっている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		基本情報の質問紙法や学校担任や保護者の方からの意見を参考にしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人一人の特性に合わせた支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士・看護師・児童指導員等で意見を出し合い活動プログラムを立案している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事を取り入れたり、お出かけや地域のイベントに参加している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動の時間と集団活動の時間を設けることで利用児が落ち着いて活動できるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気づいた点・改善点などを話し合い次回につなげている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日ケース記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者へのモニタリングを行い6ヶ月ごとの見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の選択肢を複数提示するようにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者や担当職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からのメールや通知を受け取っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		事業所内の他クラスからの移動時は支援記録の共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援員さんを通じて情報を伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEを利用したり、送迎時の会話の中で状況や課題について話をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書に明記するとともに、入所時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児の意思を第一に考えたうえで保護者の意向を確認し計画を立案している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		原案・正案ともに保護者と一緒に確認している	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今年度、家族参加型のお祭りイベントを開催予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の組織を作り窓口を設置し、苦情があった場合には適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の通信やホームページ、Instagram等で発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		手作りお弁当の配達やお持ち帰りおかずの提供を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年2回の避難訓練・緊急時や感染症発生時の対応方法を文書にて配布している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		自然災害・感染症等に対するBCPを策定すると共に、避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートや医師の指示書を提出してもらっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		車両への安全装置の取り付け、定期的な施設内外の備品のチェック等を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		今までの事例を共有し、いつでも見返すことができるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、新人研修に加え毎年必ず研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在身体拘束を行う可能性のある利用者はいない。可能性がある場合は事前に保護者に説明を行い支援計画に記載する	